2011年6月23日(木)開催 HRセミナーのご案内 ！

主催：株式会社ヒューマンブリッジ

【無料セミナー】

『グローバル化　そこまではやっていなかった・・・』

～日本初上陸のグローバル・アセスメント・ツール“CWQ”と求められる新たな能力“メンタル・タフネス”～

ひとつでも当てはまるなら、このセミナーは必見です！

- ☑ グローバル企業が取り入れているアセスメントって？
- ☑ 組織・職場文化アセスメントの必要性を知りたい
- ☑ “CWQ”を取り入れているグローバル企業はどこ？
- ☑ アセスメントを使った人材育成事例を聞きたい
- ☑ ダイバーシティを活かす方法を知りたい
- ☑ 海外駐在員のメンタルヘルス対策はおろそかだった
- ☑ グローバル人材育成への新たな切り口を掴みたい
- ☑ 海外赴任前にトレーニングの成果が出ていない

参加無料

国内市場の成長が見込めない中、新興国における成長が重要戦略となっており、現地法人の経営を担う「グローバル人材の育成」が最重要課題となっています。
そのため、日本から派遣される駐在員には、海外赴任前研修や語学研修、異文化研修などの機会が与えられています。しかし、駐在員の「成功率」は決して高くはありません。期待された目標を達成できずに数年間の任期を終える駐在員が多い現状があり、「失敗率」が高まっているようです。

何が原因なのでしょうか？

原因①：“職場文化”とアイデンティティへの浅い理解

国内では同じ価値観をもった日本人の上司・部下・同僚との間で「阿吽の呼吸」で働くことができたりしますが、一歩日本を出ると、他国の文化はもちろんのこと、その職場ごとの文化やメンバーのアイデンティティを理解する能力が必要とされます。さらには、ビジネスパーソンとしての自分のアイデンティティを明確にもち、それを相手に積極的に主張することも必要になります。しかし、異文化の表面的な理解に留まり、職場ごとの文化や自己・他者のアイデンティティを深堀する機会が投資されていません。ここでのアイデンティティとは「働く上での価値観」「働き方の志向」「強みのベースとなる資質」などのことです。

原因②：「メンタルヘルスの低下」

海外勤務は国内と比べてストレスが高くかかります。またその種類も異質で予想外のトラブルが多くあります。国内よりも1～2ランク上の役職を与えられ、責任や期待からの高いプレッシャーや現地社員との意思疎通の問題、気候や生活習慣の違いなど数え切れない程のストレス要因があります。

さらには、ストレス要因は仕事以外にも存在します。慣れない海外生活では家族も体調を崩したり、奥さんが 孤独感や憂鬱感を感じたりします。子供の帰国後の学校の心配や「帰国後のキャリアの不安」というストレスも夫婦間で存在します。

しかし、大手の企業でさえも海外の現地法人におけるメンタルヘルス対策は後回しにされがちなのが現状です。メンタルヘルスの低下は駐在員のパフォーマンス発揮を妨げ、現地社員や得意先との関係悪化などにつながり、「失敗率」を上げる原因となります。

本セミナーでは、このような原因に対して、以下のテーマで
組織グローバル化推進、グローバル 人材育成の新たなリソースをご提供いたします。

セミナーテーマ

“CWQ”の詳細は次ページへ

① 【日本本格展開】世界的なグローバル企業で導入されている
「職場文化サーベイ・アセスメントCWQ(Culture in the Workplace Questionnaire™)」の活用事例

②自分を含めたダイバーシティを活かす資質(talent)マネジメント

③駐在員に特有のストレスに対処するスキルを養い、フィジカル・エモーショナル・メンタルにおいて、包括的な自己コントロール力を強化する「メンタル・タフネス研修」

講師プロフィール

※他に、“CWQ”を受検された方からの、ご案内も予定しております。

小屋　一雄 氏
ユーダイモニアマネジメント㈱　代表取締役
米国系自動車メーカー、外資系ラグジュアリーブランドなどでマーケティングマネジャーを担当。またギャラップ社にて日本における創業メンバーとして組織変革コンサルティングに従事。サンダーバード大学院経営学修士課程(MBA)修了。

久世　浩司 氏
一般社団法人ポジティブ心理学協会　理事
P＆Gのシンガポールのアジア本社にて「SK-II」アソシエイト・マーケティング・ディレクター、グローバルブランド組織の開発など担当。現在はThe School of Positive Psychologyにてシンガポールの現地法人に対しコンサルティングと研修を行う。

詳細及びお申込は次ページへ

Human Bridge

2011年6月23日(木)開催 HRセミナーのご案内 ！

主催：株式会社ヒューマンブリッジ

【無料セミナー】

『グローバル化 そこまではやって

～日本初上陸のグローバル・アセスメント・ツール “

求められる新たな能力 “メ

グローバ
職場文化
(Cultu
詳細情報
ト

【CWQとは】

各国の商習慣を反映している“職場文化”の構成要素を明らかにし、企業の生産性向上の手段

【CWQの特徴】

①人の文化的な背景をもとにした、認識可能でコントロール可能な、人の「動機」「欲求」「価値観を構成している要因」「行動特性」を測定し、自己・他者・チーム・組織の理解ができる。特に職場文化の構成要因を 明らかにすることができる。

②各国の職場文化による特性（他国の測定数値とグラフ）と自身の特性（7ページの個人リポート）を数値と解説をもとに比較できる

③多文化構成の組織・職場での、行動変容につながる要素を測定することで、生産性向上の施策を講じる材料を整理することができる。

Webオンラインにて、設問（全60問 、日本語でも対応）へ回答することで結果が出ます。
「結果」の中には、簡易な日本語説明と、自身の他国文化比較での詳細が書かれています。

【CWQをもっと詳しく知りたい】

CWQの「測定要素」、「測定要素の論拠」、「アセスメントの結果の基本的活用方法」、「アプリケーション」「導入グローバル企業」などにご興味がる場合は、当社ホームページ（http://www.human-b.co.jp/jinji_cwq..html/）をご覧になってください。

【CWQの無料トライアル】

CWQをお試しで受けてみたいという方は、当社ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください 。
ITAP 社よりメールで、アクセスへの案内とログインUsernameとPasswordが届きます。
ログインすると設問は平易な英語文体となっておりますが、日本語対応もしております。 最終設問（全60問）への回答が終わって、“submit”「終了」をクリックすると、アセスメント結果（個人リポート）が閲覧できます。

※米組織文化変革コンサルティング会社 ITAP（ http://www.itapintl.com/ ）が本アセスメントのライセンスを保有しています。
ヒューマンブリッジは本アセスメントおよび、組織変革への 介入手法を日本企業の皆様へ紹介支援することを担っております。

開催概要

- ◈ 日 時 ： 2011年6月23日（火）13：30～18：00 開場13：15
- ◈ 会 場 ： COI五反田ビル （テクノブレーン㈱内）
- ◈ 住 所 ： 東京都品川区東五反田1-13-12 JR五反田駅 徒歩約1分
- ◈ 費 用 ： 無料

お問い合わせ セミナー事務局 TEL：03-6906-5520 E-mail：info@human-b.co.jp 担当/佐々木

お申込み方法 下記申込書に必要事項をご記入いただき、03-6850-6916 宛てにFAXにてご返送ください。
当社ホームページ・お電話・Eメールからもお申込みできます。

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの開催・運営に関するご連絡や、今後のセミナーや当社サービスのお知らせ以外には使用いたしません。

セミナー参加申込書

フリガナ		所在地	〒 ー		
貴社名					
フリガナ		所 属		業 種	
氏 名		役 職		従業員数	
TEL	( ) -	FAX	( ) -	E-mail	@
事前質問やご要望					

FAX ： 03-6850-6916

Human Bridge